



北山田小だより



横浜市立北山田小学校
校長 滝川 尚美

学び合う

認め合う

助け合う

チームワークで問題解決力をアップする

校長 滝川 尚美

フレンドチームで力を合わせて北山田パフェを守れ！
～全校オリエンテーリング「北山田ウオーズ」～

「緊急指令！ 緊急指令！ 北山田パフェを食い尽くそうとする、宇宙から謎の組織が現れたという情報が入った！なんとかしてパフェを守りたい！北山田小学校の諸君！頼む！秘密部隊として、組織を追い返し、パフェとこの町の平和を取り戻してくれ！」

11月24日（金）AM9：40、校内に緊急指令の放送が響きました。全校オリエンテーリング「北山田ウオーズ」の開始です。6年生の子どもたちが準備した6つの課題（宝探し、ピンポン玉入れ、輪投げ、ボーリング、パフェ釣り、的あて）に5年生が率いるフレンドチームのメンバーがトライしていきます。クリアするとヒントの一文字が渡されます。6つの文字を集め、そこから導き出される言葉を当てます。11時のゲーム終了まで課題クリアを目指し、チームで協力しながらオリエンテーリングを楽しみました。

5年生は、チームのリーダーとしてメンバーをまとめました。みんなの先頭に立ち声を掛ける姿、注意を聞いてくれない下級生に戸惑いながらも根気よく見守ろうとする姿が頼もしかったです。4年生は1年生のお世話をしました。ゲームの仕方を優しく教えてあげていました。3年生は記録カード係です。教えてもらったヒントの文字を記録します。最終チェックコーナーまでにキーワードを見付けるために正確に聞いて記録しなければならないので責任重大です。2年生は今日の活動の振り返りをカードに書きました。「6年生の説明が分かりやすくゲームがやりやすかったです。自分の知らないゲームができてよかったです。」「いろいろなゲームができてうれしかったです。また、友だちと協力して楽しめてうれしかったです。」など、上級生から学んだこと、友だちと協力して楽しかったことが書かれていました。昇降口に掲示してありますのでご来校の際にご覧になってください。

今回のようなフレンドチームでの活動では、異学年の友達とともに課題に取り組みます。その中で、上級生から多様な視点やアイデア、そして、丁寧に接してもらった心地よさを学びます。また、下級生との関わりから、相手のことを理解して接しようとする思いやりの気持ちが育まれます。さらに、自分の役割を果たすことの大切さも感じることでしょう。6年生の子どもたちが中心となって「学校 みんなが笑顔いっぱいになるように」と考え、行ったこのオリエンテーリング。学び合い、認め合い、助け合ったよい時間となりました。

※「北山田パフェ」は今年度子どもたちが考えた目標です。（昇降口の掲示板をご覧ください）

＜先生たちも学び合い～YPアセスメントを通して学級づくり～＞

4月、6月に引き続きYPアセスメントシートを活用した研修を行いました。学級の状況の変化や個人の変容を確認し、今後の学級経営に生かす方法を学年、チームマネージャーと共に考えました。クラスや児童の強みを生かした支援を全員で共有する場面では、児童のさらなる成長を目指そうとする担任の熱意を強く感じました。先生も学び続けています。